

厚生労働省
スマート・ライフ・プロジェクト



健康寿命を
のばそう!
AWARD

2022. 11. 28



1) <スマートライフ実施のための取組について>実施概要 一般社団法人 Tobacco-freeふくしま

●取組・活動名

県民参加型受動喫煙防止による健康作り創出モデル イエローグリーンリボン イエローグリーンキャンペーン

●実施内容の概要

「イエローグリーンは、大切な人をタバコの煙から守りたい。あなたの心の色」

日本禁煙学会学術総会福島大会を契機に、大会実行委員会が立ち上げたイエローグリーン運動は今年で3年目を迎えた。この活動は、九州や関西で始まったリボン着用やライトアップを福島で大きく展開し、全国拡大を目指すものである。

いわき市内の医療機関・企業を中心に始めたライトアップは、県内各地に広がり、徐々に40施設を超える医療機関や企業、施設がライトアップに参加するようになった。今年度、特に大きな展開となった活動のひとつに、福島県タクシー協会との協働がある。これは加盟の全タクシー車両2500台が、イエローグリーンリボン

シールを貼り県内を走行するという全国初の取り組みとなった。福島交通バスは、**福島市内を走行する全てのバスの中吊り広告に啓発ポスター**を掲示、東北ゴルフ練習場協会加盟東北24施設とゼビオコーポレート株式会社も各店舗に啓発ポスターを掲示した。また、**いわき市内3カ所のショッピングセンターでは禁煙週間である6月4日に啓発イベントを同時開催**した。このキャンペーンには、保健所職員やいわき市のゆるキャラ「フウおじさん」が参加し、幅広い年齢層への認知向上に繋げることができた。福島県内のスーパーマーケットでは、**マルトグループに加えヨークベニマルもライトアップに参加した**ため、今後更なる拡大が期待される。いわき市内の洋菓子店では、イエローグリーンゼリーを販売した。明治安田生命J3リーグでは、5月29日**いわきFC**、6月日**福島ユナイテッドFC**のホームゲームでイエローグリーンマッチを開催、いわきFCは2部昇格確定、今後は1部リーグ昇格目前のバスケットボールチーム**福島ファイヤーボンズもコラボする**。このように福島県のイエローグリーンキャンペーンは、多くの企業の協力により確実に拡大を見せている。福島県医師会や福島県の支援がキャンペーン拡大の大きな力となった。今後この活動を各家庭へと浸透させ、県民健康指標の向上となるよう活動を継続する。

●実施期間

平成29年から～現在まで

●取組に関するウェブサイト URL

福島県医師会ホームページ
「イエローグリーンキャンペーン」

2) 目的・背景

●取組・事業の実施目的

2020年日本禁煙学会学術総会福島大会開催を契機に、大会実行委員会が立ち上げたアウェアネスカラー運動である。受動喫煙防止の大切さ、愛する人をタバコの煙から守りたい！その気持ちをカラーで広く啓発する運動として、昨年から一般社団法人Tobacco-freeふくしま、福島県医師会、福島県保健福祉部が中心となり活動している。

●取組・事業を始めたきっかけ

福島県の原因別死亡割合の50%以上はがん、心疾患、脳血管疾患といった生活習慣病である。がんや生活習慣病は喫煙と密接に関係があり、喫煙・受動喫煙の影響は発癌の3分の1を占める。当団体は、市民公開講座や企業、小中学校でのがん教育・禁煙教育を実施し、生活習慣病の予防や改善、タバコ問題の啓発活動を続けてきた。しかし、2019年の国民生活基礎調査では福島県の喫煙率が全国ワースト3位という結果であり、県民の健康寿命の延伸にはこれまで以上の啓発活動が重要と考えた。イエローグリーン運動は全国各地で実施されてきたが断片的であった、この運動を福島県でも展開拡大し県民への健康意識認知向上に繋がりたいと考えた。

3) 方法

●取組・事業の実施方法

いわき市内の医療機関・企業を中心に始めたライトアップは、県内各地に広がり、徐々に40施設を超える医療機関や企業、施設がライトアップに参加している。

山形とコラボレーションし、受動喫煙防止・禁煙に関する全国配信の市民公開講座を実施。

福島県タクシー協会と協働し、加盟の全タクシー車両2500台が、イエローグリーンリボンステッカーを貼り県内を走行するという全国初の取り組みを行った。

福島交通バスは、福島市内を走行する全てのバスの中吊り広告に啓発ポスターを掲示。

東北ゴルフ練習場協会加盟の東北24施設のゴルフ練習場とゼビオコーポレート株式会社は各店舗に受動喫煙防止啓発ポスターを掲示。

いわき市内3カ所のショッピングセンター（イオンモールいわき小名浜、ラトブ、鹿島ショッピングセンターエブリア）では、禁煙週間である6月4日に啓発イベントを同時開催した。このキャンペーンには、保健所職員やいわき市のゆるキャラ「フラおじさん」が参加し、幅広い年齢層へ受動喫煙防止の認知向上に繋げた。福島県内のスーパーチェーンマルトに加えヨークベニマルもライトアップに参加し、イベントで協賛品の協力があり、今後更なる拡大が期待される。

いわき市内の洋菓子店（ゼリーのイエ）では、イエローグリーンゼリーを販売した。

明治安田生命J3リーグでは、5月29日いわきFC（2023年度J2昇格）、6月5日福島ユナイテッドFCのホームゲームでイエローグリーンマッチを開催した。

11月13日には、1部リーグ昇格目前のバスケットボールチーム福島ファイヤーボンズともイエローグリーンスペシャルマッチを開催した。

4) 成果・意義

●成果及び施策の予算規模等がわかる情報

公告費用、年3カ所の市民公開講座の費用、ステッカー作成として100万円を予算とした。
取り組みの結果は県全体に及ぶため算定不可能であるが、このような活動により、福島県は小学校の夏休みの宿題に受動喫煙防止に関する川柳の公募を行い、家庭での意識啓発に繋がっている。

●取組・事業の実施における意義

健康寿命が簡単に伸ばせないことは他の生活習慣病対策を見ても明らかである。この活動を医療者側だけでなく市民全体の視点を変えていくことが重要と考える。禁煙だけを声高に叫ぶのではなく、**受動喫煙防止の幅広い意義を訴えかけることにより健康意識を高める**ことによって喫煙率を減少させ、健康寿命を伸ばす活動を継続していくことで貢献していく。

5) 今後の展開予定

●取組・事業の今後の展開予定

- ①2023年は**福島県いわき市、郡山市、福島市のショッピングセンター（ヨークベニマル、スーパーチェーンマート、いちい）**や**スパリゾートハワイアンズ**で啓発イベントの開催を目指す。これら各店舗で啓発活動を展開することで市民目線に落とし込んだ活動としたい。
- ②**ゆるキャラ**を継続的に活用する → **きびたん、フラおじさん、ももりん、がくとくん、オンブちゃん、COCOねえさん**等。ゆるキャラを各自治体、会場に登場させ、ポスター掲載やイベント参加を依頼する。
- ③ポレポレシネマズいわき小名浜、福島フォーラムをはじめとした**県映画館でキャンペーンシネアド**を継続する。県内、県外への影響を考えると、イオン、イオンシネマ本体への働きかけは企業CSR向上のためにも有効である。
- ④商工会議所が協力的であるため、中小企業同友会にも協力を依頼する。
- ⑤**車用イエローグリーンリボンステッカー**を作成、賛助会員（賛同企業等）企業、自治体等に頒布する。
(1枚数百円程度)
- ⑥毎年5月**禁煙週間と世界COPDデー（11月第3水曜日）**に**イエローグリーンライトアップ**を行う
- ⑦10月29日に郡山ビッグパレットふくしまで開催される**ハートフルサタデー**に参加する（**献血活動イベント**）
- ⑧プロスポーツ界との協働イベントを継続する。→**いわきFC、福島ユナイテッドのJリーグに加え、**

プロバスケットボールチーム福島ファイアーズと野球福島レッドホープスのとの協働を行う

⑨イエローグリーンキャンペーン全国連絡協議会の設置

2022 年内中に来年度向けの福島県保健福祉部健康づくり推進課との協議を開催する

⑩Tobacco-free ふくしまの正会員、賛助会員募集(賛同企業等)、会費の検討を行う。

直近課題)自治体、(県、いわき市など郡市)と協働し青少年に対する**正しいタバコ問題啓発はがん教育、生活習慣病予防と深く関わる**ことから、**小中学校へのがんタバコ特別教育**に対し積極的に講師派遣を医師会と連携しながら行う。

●取組・事業の参加者・利用者や広く社会に伝えたいこと、今後の展望

この活動がどのようなアウトカムをもたらすのか、健康指標の変動改善点が示されるまでもう少し時間はかかる。しかし、就労年齢世代、若年、青少年への啓発継続が、意識改善をもたらし、生活習慣病の入院や死亡率を減少させ、それが国保の資質にどのように関わっていくのか、医療保険財政収支に良い影響を与えることはいずれ証明されることになる。また我々は県民、国民健康の向上は生活の質、生きがいのある社会の創生につながると信じている。

Tobacco-freeふくしまは、福島県、福島県医師会、福島県民を繋ぐ役割を果たし、自らが実行団体となり、県民参加型受動喫煙防止による健康作り創出モデルを常にブラッシュアップしながら継続実施していく。

来年こそ、全国キャンペーンを！

全県各1ヶ所以上での世界禁煙デー、禁煙週間でのイエローグリーンライトアップを！

健康寿命をのばそう! AWARD

福島県医師会ホームページ

<https://www.fukushima.med.or.jp/ygcarchive>

厚生労働省ホームページ

<https://www.mhlw.go.jp/content/10904750/001018137.pdf>

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29127.html

一般社団法人 Tobacco-free ぷくしま 役員(2022/12/1 現在)

役職	名前	地区	その他
代表理事	齊藤 道也	いわき	福島県医師会常任理事 いわき市医師会副会長 禁煙学会理事
副代表理事	坪井 永保	郡山	福島県医師会常任理事 坪井病院理事長 郡山医師会副会長 禁煙学会評議員
副代表理事 事務局長	黒田 直人	福島	福島医大法医学講座教授
副代表理事	中山 大	いわき	いわき市病院協議会副理事長 かしま病院理事長 禁煙学会評議員
理事	風間 順一郎	福島	福島医大腎臓高血圧内科学講座教授
理事	赤津 雅美	いわき	福島県薬剤師会理事 いわき市薬剤師会長 アイル薬局代表
理事	猪狩 寛晶	いわき	いがり歯科医院
理事	西郡 里美	いわき	福島労災病院看護師長 福島県看護協会
理事	木村 守和	いわき	福島県医師会副会長 いわき市医師会長 木村医院理事長
理事	石山 純恵	福島	内閣官房「地域活性化伝道師」委嘱 (株)クリフ代表
			福島ピンクリボンライトアップ実行委員長
理事	八巻 秀一	福島	福島県医師会事務局長
理事	菅原 秀樹	郡山	郡山薬剤師会理事 (株)ミッテル本部総括部長
理事	直笠 晋一	福島	福島薬剤師会副会長 福島県薬剤師会理事 あおぞら薬局競馬場前店
監事	風間 咲美	福島	福島医大先端地域生活習慣病治療学講座准教授
監事 事務局	西形 里絵	福島	福島医大法医学講座准教授
監事	中山 文枝	いわき	かしま病院内科

 健康寿命をのばそう! AWARD